

## 令和3年度 藤島地域主要事業

### 藤島地域まちづくり未来事業【予算額 22,503 千円】

合併の理念である「多様性の発揮」を実現するために、地域振興計画に基づき全市域で地域の特性を活かしたまちづくりが進められてきた。一昨年度より地域まちづくり未来事業が本格的にスタートしたのを機に、新・地域振興計画も策定され、「農業振興」、「ふじのまちづくり」、「くらし」に関わる3つの基本方針を設定するとともに、地域の未来に活力を与え、明るい希望が持てる地域社会を実現しようとする、「藤島地域まちづくり未来事業」を核とする地域振興に資する取り組みを展開する。

#### ○基本方針1 「豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現」

【予算額：4,082 千円】

- ①藤島発！！鶴岡の米プロジェクト ➤2 事業
- ②藤島発！！園芸作物拡大プロジェクト ➤2 事業（再掲）
- ③食農教育等を通じたふるさと意識の醸成 ➤2 事業
- ④庄内農業高等学校・首都圏大学との地域連携の推進 ➤2 事業

#### ○基本方針2 「歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進」

【予算額：13,213 千円】

- ①藤島歴史公園「Hisu 花」を活用した藤島地域の魅力発信 ➤4 事業
- ②住民協働による藤棚等の適正な維持管理の推進 ➤3 事業
- ③伝統芸能の育成と地域コミュニティづくり ➤2 事業
- ④ふじの花による観光振興の促進 ➤1 事業

#### ○基本方針3 「くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築」

【予算額：5,208 千円】

- ① 自立分散型インフラ整備の推進 ➤2 事業



#### ◆各基本方針成果指標（K P I）

	項目（測り方）	H29 年度 （初期値）	R1 年度	R2 年度 （見込値）	R5 年度 （期間設定値）	R10 年度 （K P I）
基本 方針1	農業収入 1 千万円 以上の経営体割合	16.4%	17.7%	—	26.3%	30.0%
基本 方針2	ふじ関連イベン ト・施設入込数	21,615 人	51,420 人	27,700 人	62,200 人	36,800 人
基本 方針3	藤島地域の人口減 少率	△1.9%	△1.1%	△1.5%	△1.5%	△1.5%

## **(総務企画課)**

- 1 藤島歴史公園関連事業（まちづくり未来事業枠）** 【予算額 5,715 千円】
  - ・藤島歴史公園「Hisu 花」魅力発信事業 【予算額 4,543 千円】
  - ・藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり事業 【予算額 300 千円】
  - ・東田川文化記念館利活用事業 【予算額 370 千円】
  - ・ふじ管理エキスパート養成支援事業 【予算額 502 千円】

平成27年7月に開園した「藤島歴史公園 Hisu 花」を藤島地域のシンボルとして、テーマ性のある重要な地域資源と捉え、交流拠点化と賑わいづくりを推進するため、公園発の地域づくりを市民協働で進めるワークショップを開催する。

「見ごたえのあるふじ」の育成に向け、地域に根差した公園づくりを推進するため、藤棚管理ボランティア団体等を支援するとともに、ふじの花まつり期間中のライトアップや、ふじのオフシーズン時（秋から冬場）のイルミネーション等の設置などにより、年間を通した公園の魅力アップを促進する。

また、隣接する東田川文化記念館を含めた歴史公園一帯を藤島地域の魅力の発信拠点、住民主体による活動拠点として活用を図ることにより、地域住民が誇りと愛着をもって暮らしていける地域づくりと、活力あるまちづくりを推進する。

- 2 藤棚の整備事業（まちづくり未来事業枠）** 【予算額 3,600 千円】

スポーツ課所管施設となるが、ふじのまちにふさわしい環境整備を図るため、藤島体育館周辺の老朽化した藤棚を複数年かけ計画的に整備する。

- 3 長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業（まちづくり未来事業枠）**

**【予算額：3,959 千円】**

公共交通空白地域となっている長沼・八栄島地区への最適な地域公共交通システムの導入を図るための2年間の調査事業を経て、令和3年度よりデマンド型タクシーによる実証実験運行を実施する。

- 4 藤島地域公共交通調査事業(まちづくり未来事業枠)[予算額:1,249 千円]**

路線バスの廃止も視野に入れながら、既存の地域公共交通網を含めた藤島地域全体の公共交通の再編に取り組み、住民の利便性を第一に考えた公共交通網を構築する。

- 5 コミュニティセンター改修(小規模修繕枠)** 【予算額：1,535 千円】

渡前地区地域活動センター体育館照明設備交換や八栄島地区地域活動セ

ンター伝習ホール網戸設置などを実施する。

## 6 住民自治組織総合交付金 [予算額：19,179千円（防犯灯除く）]

市から自治組織へ交付している複数の補助金等をまとめて交付することで、自治組織にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として交付する。

## 7 防犯灯事業補助金

- ・自治組織等が負担する防犯灯の新設及び更新に対する補助金。

[予算額：650千円（全市）]

- ・自治組織等が負担する防犯灯の維持管理に必要な経費に対する補助金。（総合交付金として交付）

[予算額：1,076千円（藤島地域）]

## 8 鶴岡市藤島地域総合防災訓練（9月上旬）

鶴岡市地域防災計画に基づき、大規模な災害発生を想定した訓練を鶴岡市消防団藤島方面隊が分団別に計画し、藤島地域内5箇所を会場に防災訓練を実施する。また、あわせて地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に、長沼地区にて各町内会及び自治振興会と共に情報伝達訓練及び避難所開設訓練を実施する。

### （市民福祉課）

## 9 新型コロナウイルスワクチン接種事業

国からのワクチン供給量に対応した接種体制で実施する。本格化する見込みの5月以降、地域内集団接種を確実にを行い、新型コロナウイルス蔓延防止を推進する。

## 10 長沼温泉ぽっぽの湯管理運営事業 [予算額 74,241千円]

温泉施設の運営適正化のため、令和3年度より、長沼温泉ぽっぽの湯運営協議会が新たに指定管理者として運営し、地域密着型の温泉施設サービスの向上を図る。また、健康増進施設として機能を強化するため、介護・フレイル予防事業を実施するとともに、各スポーツ関連団体や自治振興会等と連携し、藤島庁舎各課と一体で利用者拡大の取組を推進する。

## 11 介護予防事業

地区組織や地域包括支援センターと連携し、町内会、老人クラブ等で健康教室を実施し、講話や運動実技、調理実習等を通じて介護予防活動の推進を

図り、いきいきと暮らせる地域づくりを目指す。

令和3年度は、長沼温泉ぽっぽの湯を活用し介護予防事業を強化する。

## 12 高齢者長寿祝賀事業

令和2年度はコロナウイルス感染防止のため、敬老会はほとんど行われなかったが、適切な感染防止対策の下、敬老会を開催する場合は実行組織が円滑に実施できるよう支援する。あわせて、米寿・数え百歳の方に賀詞を贈呈し、長寿をお祝いする。

## 13 市立保育園管理運営事業

藤島こりす保育園及び藤島くりくり保育園について、指定管理者による円滑な運営を支援する。

## 14 藤島児童館管理運営事業

藤島児童館について、指定管理者による円滑な運営を支援する。

## 15 藤島斎場管理運営事業

【予算額 24,409 千円】

年間200件前後の使用があり、藤島地域のみならず鶴岡斎場と共に鶴岡市の斎場業務を担っている。昭和59年稼働の施設・設備ではあるが、今後も火葬件数は増加すると見込まれることから、適切な維持修繕を行いながら管理していく。今年度は、黒煙等の対策に係る大規模な改修工事が予定されている。

## 16 藤島ふれあいセンター隣接財産（旧ふれあい市場）の利活用

遊休公有資産となっていたことから、鶴岡産品を使用した事業での活用その他、地域の賑わいの創出のため、地域住民や庄内農業高等学校との連携を図る取り組みを選定基準とした公募型プロポーザルで借受者を募集し、審査を経て契約に向けて事務を進め、地域の活性化を図る。

### （産業建設課）

## 17 藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業（まちづくり未来事業枠）

【予算額：457 千円】

人と環境にやさしい農業の取組みを継続するとともに、先進的な有機農業技術の習得により労力の軽減及び品質向上、有機農産物等の安定生産を図る。

また、鶴岡市が認証する有機農産物及び独自認証米について、コロナ禍においてもオンライン商談会等の活用により情報交換を密にし、消費者動向を捉えながら販路拡大を図る。

このほか、全農業者を対象にGAP認証の取得を啓発し、食品安全、環境安全、労働安全等の確保を推進する。

#### **18 藤島農産物元気事業（まちづくり未来事業枠）【予算額：1,806千円】**

「藤島農産物元気食楽部」を核とし、生産者と農業関係機関が一体となった農業振興を図り、リモートセミナー等を活用し地域農業の活性化を図るとともに、コロナの状況をみながらオンライン講義等を開催し後継者育成を図る。

また、稲作と園芸の複合経営を推進し、認証制度の活用により生產品の均一化を図るとともに、低コスト化や省力化技術等を実証し農家所得の向上を図る。

#### **19 藤島地域首都圏大学・農村農業マッチング事業（まちづくり未来事業枠） 【予算額：600千円】**

大東文化大学社会学部の地域事業への参画については、当分の間リモートによる調査交流を推進し、状況をみながら報告会等の開催を検討する。あわせて、大学生の持つ情報発信力を活用した、地域の魅力を拡散する仕組みを構築していく。

#### **20 庄内農業高等学校地域連携事業（まちづくり未来事業枠）**

**【予算額：1,000千円】**

本市農業の人材輩出機関である県立庄内農業高等学校では、地域連携事業を展開し教育機関としての同校の更なる発展と魅力ある学校づくりの取り組みを推進している。

引き続き、ユネスコ食文化創造都市鶴岡の魅力体験事業、農業の成長産業・6次産業化支援事業、農・福連携地域交流農園支援事業、農業コンテスト出品等PR支援事業に取り組むことにより、地域の特性を活かした農業振興と地域づくり、地域活性化と同校卒業生の地元定着の促進を図る。

特に6次産業化支援事業のうち庄農うどんプロジェクトでは、地元農家との連携や地元産原料使用の検討を進める。また、庄農生の活動の発信強化を図り、同校のイメージ向上と入学生増加に繋げていく。

#### **21 まつり振興事業（伝統芸能祭開催事業含む）【予算額：4,460千円】**

・「ふじの花まつり」 【予算額：1,550千円】

・「ふじしま夏まつり」 【予算額：1,470千円】

※ 鶴岡伝統芸能祭（まちづくり未来事業枠）【予算額：760千円】

・「ふじしま秋まつり」 【予算額：680千円】

主要観光事業である「ふじの花まつり・ふじしま夏まつり・ふじしま秋まつり」

り」をコロナの状況に応じて、屋外イベントを中心にした開催とする。

5月開催の「ふじの花まつり」は地域外来客者の割合が多く、令和3年度は30回目の記念回を迎える地域最大のまつりであり藤島歴史公園を主会場に記念イベントを行うなど、一層力を入れていきたい。

「ふじしま夏まつり」は、まちづくり未来事業である鶴岡伝統芸能祭と、ふじしま焼肉フェスティバルをメインにしており、特に伝統芸能祭は市内全域から保存団体が集まるため、伝統の技を披露する場として、また出演者同士が交流を深める貴重な場となっている。

10月開催の「ふじしま秋まつり」は、「つや姫の里の収穫祭」をテーマとし、有機米をはじめとする地元農産物や加工品の販売、新メニューの試食や藁を使ったオリジナルイベントなど「米の里ふじしま」らしい取り組みを通して「食と農による地域づくり」を広くアピールしていく。

## 22 建設関連事業

### ◇ 道路新設改良事業（本所土木課）

- ・上町中央線（上町派出所前）L=92.8m C=10,000千円  
派出所側の歩道の整備を行います。R4以降に十一屋側の整備を継続要求していきます。
- ・藤島駅前線（測量設計） L=280m C=3,000千円  
藤島駅笹花線（県道工事）完了に伴う測量設計業務を行います。

### ◇ 道路公共事業（本所土木課）

- ・長沼地区冠水対策事業（長沼）補償及び本工事 L=160m C=10,000千円  
長沼集落内の冠水被害を防ぐ排水対策工事を行います。（継続事業）

### ◇ 道路維持事業（藤島庁舎）

- ・上藤島中央線消雪コンクリート除去（上藤島） L=100m C=1,200千円  
通行や除雪の支障になっている、消雪装置コンクリートを除去します。

### ◇ 公園事業（藤島庁舎）

- ・藤島歴史公園 格納庫整備 2,700千円（まちづくり未来事業枠）
- ・村前第一公園 藤棚修繕 382千円
- ・藤島駅前広場 照明灯修繕 182千円
- ・添川、和名川農村公園、南部児童公園、藤島河川公園 遊具修繕 217千円